

亀崎小学校 校舎建替え等に合わせた「児童の居場所づくり」についての説明会

主な意見・質問に対する回答内容

日 時：令和6年8月30日（金）19時00分～20時35分

場 所：亀崎公民館 視聴覚室

参加者：参加者35名

半田市職員7名

回答内容について

◇ 以下の内容は、8月30日（金）に開催いたしました「亀崎小学校 校舎建替え等に合わせた「児童の居場所づくり」についての説明会」において、ご参加いただきました皆様からの主なご意見・ご質問に対して、会場でお答え申し上げた内容を掲載しております。

No.	ご質問・ご意見	お答え
1	今日のプログラムには「質疑応答」しかないが、意見交換会ではないのか。意見は反映されるのか。	「意見交換会」と「説明会」で名称は異なるが、質問と併せてご意見も聞かせていただき、今後、関係機関と協議を進めるなか、いただいたご意見の事業への反映を検討します。
2	未就園児は放課後ひろばを利用できないのか。	未就園児については、KORO*KORO*はうすや亀崎幼稚園の子育て支援室を利用させていただくことを考えています。 小学生以外の子どもの居場所については、本日説明させていただいた場所以外にもないか、引き続き検討していきたいと思えます。 →亀崎小学校校区在住の未就学児の利用を可能とします。 ⇒亀崎小学校校区の幼稚園及び保育園に通園する未就学児及び亀崎小学校校区在住の小学生の利用も可能とします。
3	利用者は、なぜ小学生限定なのか。	小学校に誰でも自由に入れるようにすることについて、不審者の侵入など不安であるという意見もあります。安全面を考慮し、現時点では小学生のみの利用とし

		<p>ています。</p> <p>→亀崎小学校区在住の未就学児の利用を可能とします。</p> <p>⇒亀崎小学校区の幼稚園及び保育園に通園する未就学児及び亀崎小学校区在住の小学生の利用も可能とします。</p>
4	説明のようなやり方で、地域とのつながり、世代間交流ができるのか。	放課後子ども教室については、地域のボランティアスタッフの協力により実施するため、多世代の交流ができると考えています。
5	ボランティアスタッフが安全な人であるかどうかは、どのように確認するのか。	放課後子ども教室については、現在も小学校の空き教室で実施しています。ボランティアスタッフについては今後も協力していただくことを考えており、お互いを知っている関係性の中で実施します。
6	未就学児が利用しても問題ないと思うかどうか。	<p>安全面以上に世代間交流が大切という意見が多ければ、それをどのような形で実現するか、場所や方法を含めて考えていきます。</p> <p>→亀崎小学校区在住の未就学児の利用を可能とします。</p> <p>⇒亀崎小学校区の幼稚園及び保育園に通園する未就学児及び亀崎小学校区在住の小学生の利用も可能とします。</p>
7	放課後ひろばの利用料（保険料や入退室管理カード）について、利用者が負担する必要があるか。	<p>一定の受益者負担は必要と考え、現時点では、利用者に負担していただく予定でず。今後、協議を進める中で、利用料の負担の可否を検討します。</p> <p>→利用料は無料です。</p>
8	入退室管理システムの導入は必要か。	<p>子どもの安全を心配する保護者もいらっしゃいますので、ご意見を伺う中で、より良い運営方法を考えます。</p> <p>→誤った操作や利用により利用者やその保護者に混乱を招く状況が想定されるため、入退室管理システムの導入はしません。</p>

		⇒保護者への入退室時間の履歴の確認ができることが保護者の安心につながるため、誤った操作がないよう注意を払い、入退室管理システムの導入をすることとします。
9	できるだけ多くの子どもが利用しやすいように運営方法を考えてほしい。	現時点では、小学校の在校生の児童だけが利用できます。現時点で市が考えている方法が適切であるかどうか、利用者側の意見を聞きながら、引き続き検討していきます。 →亀崎小学校区在住の未就学児の利用を可能とします。 ⇒亀崎小学校区の幼稚園及び保育園に通園する未就学児及び亀崎小学校区在住の小学生の利用も可能とします。
10	世代間交流について、現状、亀崎地区でボランティア等の活動をしている方々がどれくらいいるのか教えてほしい。	子育て支援関連では、亀崎児童センターでイベント等を開催していただいている団体、放課後子ども教室では、週に2回、地域のボランティアスタッフの方々に活動をしていただいています。
11	そのような活動に関わっている方の年齢は大体どれくらいの方が多いか。	子どもさんが小中学生の現役世代の方から、年配の方まで幅広い方々に関わっていただいていると考えています。
12	どの程度の利用者を見込んでいるか。	見込みが難しいところですが、学童保育の利用者も含め、170～180人の利用を見込んでいます。
13	スタッフは何人を想定しているか。	協議中ですが、利用者が安全に過ごすための見守りができるよう、人員を配置したいと考えています。 →2名のスタッフで見守り巡回を行います。
14	放課後ひろばは、17時まで利用できるとのことだが、冬場は17時でも暗くなる。今は、地域ボランティアの方々に交差点や横断歩道の見守りをいただいているが、今後どのように考えてい	季節によって、子どもが安全に帰れるような運用を考えていきます。 →最終下校時刻まで利用できることとします。 ⇒4月から9月までは、17時までの利

	るか。	用とし、10月から3月までは、16時30分までの利用できるとします。
15	校庭や体育館の利用について、スポーツ課と調整はしているか。	スポーツクラブの活動に支障がないよう内部で調整をしています。 ⇒体育館の利用については、スポーツクラブと調整をし、平日の放課後、長期休暇の平日の日中は利用できます。
16	市の組織のなかで調整をしてより良いものにしていただきたい。地域スポーツクラブでは、中学生の居場所づくりを検討している。2年後には事業が始まるため、関係者には説明会や意見交換会をできる限り行ってほしい。	今後もこのような場を設けていきます。
17	児童センターがなくなることで、今まで行ってきたことを全て新しい施設でやることは難しいと考える。これまでと同様の手厚い活動を行っていくためには、亀崎地区の方々の協力を活用してほしい。	亀崎地区の方々の団結力、子どもへの愛着心の強さは認識しており、亀崎小学校の中に児童の居場所をつくっていく上で、子どもたちが地域の方々と関わり、楽しく過ごせる時間が増えるよう、ご協力いただきたいと思います。
18	児童センターで行っているイベント等は、引き続き実施できるのか。	子どもたちが様々な経験ができるよう検討します。 ⇒委託業者とともに様々な経験ができるよう検討しています。
19	イベント等に参加できるのは小学生だけか。	小学生以外も参加できる形ができないか、場所や方法も含めて検討しています。
20	学童保育を民間の事業所が地域の中で独自にやるのは限界がきていると感じる。そうした中で、小学校内に学童保育の場所ができるのは良いことだ。半田市として今後、子どもの居場所をどのように作っていくか、方向性を考え、示す必要がある。	小学校の中に子どもの居場所を作っていく上で、地域性も重要と考えます。各小学校区で地域と十分に話し合いをして作っていきます。 また、子どもの居場所を作っていくのは行政だけでは限界があります。亀崎地区では、地域のつながりの強さを活かしてみなさんの協力を得ながら作っていきたいと考えますのでよろしくお願いいたします。
21	今日の説明の最初に公共施設の複合化、	市としては、児童の居場所を小学校の中

	<p>合理化がでてきたが、子どもの居場所づくりをどうするかというところから話をしないと筋が違うと感じた。</p> <p>小学校のなかに子どもたちの居場所を確保していこうというところは一定の評価はできるが、現在、亀崎児童センターで行っている様々事業を全て移行することは難しいと考えている。</p> <p>本当に子どもの育ちや、居場所を支援していこうとするなら、市としてまだ手をつけていない分野もある。そうしたところを合理化という視点で切り捨てていってしまう方向性は違う。</p> <p>亀崎児童センターについて、例えば、市として有用な事業を地域で維持するなかで活用していくとしたら、市はどのように考えるか。</p>
22	<p>市長が、子育てに力をいれて、働く親を応援するということを掲げているのであれば、国や県の制度活用の有無ではなく、市としてどのように制度化していくか考えるという姿勢が必要である。今後、市や子育て支援部門としてどのようにこれを受け止めるかは改めてお聞きするが、必要なものについては継続的に協議していく姿勢を持っていただきたい。</p>
23	<p>事業の運営について、子どもを預ける保護者の方が一番気になる点であると思うが、どのようにスタッフを集めるのか。子ども同士のトラブルがあったときにどのように解決してくれるのか、急な病気のと きに対応できるのか。多くの子どもが利用するなかで、その子どもの特徴を知る、名前を覚える、といったことができるのか。安心して子どもを預ける体制をどのようにつくっていくのか教えてほし</p>

	い。	
24	多くの意見があるなかで、未就学の児童が利用できないというのは、学校側の意見か。	<p>学校側の意見というより、小学校内の安全、小学生の安全に配慮して、今の形になっています。</p> <p>学校側には、このようなご意見をいただいたということを伝えた上で、再度検討させていただきたい。</p> <p>→亀崎小学校区在住の未就学児の利用を可能とします。</p> <p>⇒亀崎小学校区の幼稚園及び保育園に通園する未就学児及び亀崎小学校区在住の小学生の利用も可能とします。</p>
25	<p>児童センターは安心・安全に運営ができている。</p> <p>また、児童センターは学校に行けない子どもたちの居場所にもなっているので、同じスキームで小学校内につくることができないのか。</p>	<p>未就学児の子どもを受け入れる場合、その保護者も一緒に来ることになるため、保護者と不審者との区別ができず、安全面で不安だという意見も乙川東小学校の説明会ではありましたので、学校、関係者等と話し合いながら決めていきたいと考えております。</p> <p>また、学校に行けない子については、学校や家庭以外の第3の居場所として、公民館や図書館など、他の公共施設の利用などについても検討していきます。</p> <p>→亀崎小学校区在住の未就学児の利用を可能とします。</p> <p>⇒亀崎小学校区の幼稚園及び保育園に通園する未就学児及び亀崎小学校区在住の小学生の利用も可能とします。</p>
26	<p>中学のとき不登校になった友人は児童センターを居場所としていた。少数だが、そういう子どももいる。</p> <p>そうしたなかで、どのような方向性で子どもの居場所づくりを考えているのか。</p>	<p>現時点では、小学校内の児童の居場所は、小学生のみが利用できる場として考えています。一方で、地域性やこれから先の時代の流れ等もあるので、関係者の声を聞き、引き続き検討していきます。</p> <p>→亀崎小学校区在住の未就学児の利用を可能とします。</p> <p>⇒亀崎小学校区の幼稚園及び保育園に通</p>

		園する未就学児及び亀崎小学校区在住の小学生の利用も可能とします。
27	違う学年子どもと一緒にいることで学べることもある。小学生以外の子どもも利用できるようにしていただきたい。また、もう少しスピード感をもって進めていただきたい。子どもにとっては1年という時間が貴重である。今後もこのような場を設ける等、意見を聞いて取り入れてほしい。	できるかぎり子どもにとっていい形になるよう、みなさんの意見を聞きながら考えていきます。
28	学校のなかに地域の子どもの総合的な居場所をつくるということは無理なのでしょうか。	亀崎については、今のところ子どもの居場所と学校という形ですが、目指すところは市民の交流の場を学校の中につくるという方向でいきたいと思います。
29	小学校が地域全体の交流の拠点になるような形にしたいと聞こえましたが、教育委員会と調整ができたうえでの発言か。学校は子どもたちの安全ということを最優先に考えている。市として、しっかりとしたビジョンをもって、全体で共有していかないと難しい。	市として、小学校の中に公共施設をまとめていくという大きな方向性がありますので、教育委員会を含め、関係者間で調整をして実現に向けて取り組んでいきます。
30	参加者からのご意見等に対して、ホームページ等で公表して、見える形にしたい。	関係者と協議、調整のうえ、市の考えをホームページ等により公表していきます。